

令和元年 9 月 9 日

会 員 各 位

一般社団法人 愛知県建設業協会
専務理事 大 西 克 義

第 6 回「建築構造用鋼材と利用技術セミナー」の開催について

標記につきまして、このたび、一般社団法人日本鉄鋼連盟から別紙のとおり、
建築構造用鋼材の利用技術、新工法等に関して、実務的・実践的に解説するセミ
ナーを開催する旨の周知依頼がありましたので、ご案内いたします。

以 上

第6回「建築構造用鋼材と利用技術セミナー」開催案内

主 催 一般社団法人日本鉄鋼連盟

開催目的 一般社団法人日本鉄鋼連盟は健全なる鉄骨造建築の普及を目的とした諸活動を行っております。そのひとつとして 1995 年度から毎年「建築構造用鋼材とその利用技術」講習会を開催してまいりましたが、2014 年度より受講料無料のセミナーとして再スタートいたしました。第6回となる今回は、全国7地区にて、建築構造用鋼材の利用技術、新工法等に関する以下のテーマについて、実務的・実践的に解説いたします。ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしております。

- ・基調講演
- ・サブマージアーク溶接による先組ビルトHの溶接部性能と梁端接合部の塑性変形能力
(先組みビルトH梁のサブマージアーク溶接施工ガイドブック解説)
- ・リサイクル性を考慮した鉄鋼製品の環境負荷計算法と ISO/JIS 規格化
- ・冷間成形角形鋼管の溶接・加工品質向上と施工合理化について(その2)
- ・建研・国総研における鉄骨造建築物に関する最近の研究

受講対象 官公庁、建築設計事務所、建設業、鉄骨加工業、大学・高専教員・学生、学術関連機関等、建築関係者

受講料 無料

配付資料 各講義におけるパワーポイント資料他

申込方法 (1) インターネットによるお申し込み

- ・下記日本鉄鋼連盟ホームページへアクセスし、「開催地・開催日・会場・申込」をクリック、以降は画面の案内に従ってお申し込み下さい。

日本鉄鋼連盟ホーム > 各種ご案内 > 催し物のご案内 > 「建築構造用鋼材と利用技術セミナー」
<http://www.jisf.or.jp/info/event/kenchiku/index.html>

- ・お申し込みいただいた各受講者のメールアドレス宛、電子メールにて、受講証を送信しますので、ご確認下さい。
- ・受講証を印刷のうえ、当日会場に必ずご持参下さい。

(2) FAXによるお申し込み

- ・インターネットによるお申し込みが難しい場合、4ページの受講申込書に必要事項を記入の上、記載の送信先へFAXにてご送信下さい。
- ・お申し込みいただいた各受講者宛、受講証をFAX送信(メールアドレスを記入いただいた方には電子メール送信)しますので、ご確認下さい。
- ・受講証を当日会場に必ずご持参下さい。

申込締切り期日 開催日の3日前。それ以降にお申し込みの場合は、確認のため電話にて2ページの「お問合せ先」宛ご連絡の上お申し込み下さい。ただし、締切り期日前でも定員に達した場合締切らせていただきます。

後 援 (予定) 国土交通省、国立研究開発法人建築研究所、一般財団法人日本建築センター、一般社団法人日本建築学会、公益社団法人日本建築士会連合会、一般社団法人日本建築士事務所協会連合会、公益社団法人日本建築家協会、一般社団法人日本建築構造技術者協会、一般社団法人全国建設業協会、一般社団法人日本建設業連合会、一般社団法人鉄骨建設業協会、一般社団法人全国鐵構工業協会、一般社団法人日本鋼構造協会、一般社団法人日本溶接協会

[札幌会場] 北海道、一般社団法人北海道建築士会、一般社団法人北海道建築士事務所協会、一般社団法人北海道建設業協会、一般社団法人北海道機械工業会鉄骨部会

[仙台会場] 宮城県、東北鉄構工業連合会、一般社団法人宮城県建築士会、一般社団法人宮城県建築士事務所協会、一般社団法人宮城県建設業協会、宮城県鐵構工業協同組合

[東京会場] 東京都、一般社団法人東京建築士会、一般社団法人東京都建築士事務所協会、一般社団法人東京建設業協会、東京鉄構工業協同組合

[名古屋会場] 愛知県、公益社団法人愛知建築士会、公益社団法人愛知県建築士事務所協会、一般社団法人愛知県建設業協会、愛知県鉄構工業協同組合

[大阪会場] 大阪府、公益社団法人大阪府建築士会、一般社団法人大阪府建築士事務所協会、一般社団法人大阪建設業協会、大阪府鉄構建設業協同組合

[広島会場] 広島県、公益社団法人広島県建築士会、一般社団法人広島県建築士事務所協会、一般社団法人広島県建設工業協会、協同組合広島県鉄構工業会

[福岡会場] 福岡県、公益社団法人福岡県建築士会、一般社団法人福岡県建築士事務所協会、一般社団法人福岡県建設業協会、工業組合福岡県鉄構工業会

- 注意事項**
- (1)会場には必ず受講証をご持参下さい。
 - (2)会場の都合上、定員に達し次第締切らせていただきます。
なお、申込状況を受付窓口のホームページ(申込状況確認画面)に掲載いたしますのでご参照下さい。
 - (3)ご欠席者の中で、資料の入手をご希望される方は、下記お問合せ先へメールにてご連絡下されば、送料着払いにてお送りいたします。
 - (4)本セミナーは、(一社)日本建築構造技術者協会の JSCA 建築構造士登録更新のための評価点対象セミナーとなる予定です。
 - (5)本セミナーは、建築士会CPD制度の認定プログラムとして申請中です(3単位)。
 - (6)本セミナーにお申し込み頂いた方の個人情報、受講申し込みと、別途ご同意を頂いた方への当連盟からの各種ご案内・アンケート実施以外の目的には使用いたしません。
 - (7)日本鉄鋼連盟では、株式会社エクセル エフ・ピーに、本セミナーの運営業務を委託しております。個人情報の取扱については本セミナー以外の目的には使用しない旨、同社と覚書を交わしております。
 - (8)会場により駐車スペースの制限もあるため、ご来場には公共の交通機関のご利用をお奨めしております。

セミナー主催者・お問合せ先： 一般社団法人日本鉄鋼連盟 業務部 市場開発グループ 担当：白鳥、桑野
電話：(03) 3669-4815 FAX：(03) 3669-0229 E-Mail：sijo-kaihatsu@jjsf.or.jp

講演要旨

<p>基調講演 (50分)</p>	<p>日本鉄鋼連盟では、鉄骨造の健全なる発展と普及に資することを目的に、建築鋼構造を研究する大学・研究機関等の研究者で構成する建築鋼構造研究ネットワーク(幹事長：多田 元英 大阪大学工学研究科建築工学部門 教授)を組織しています。本講演では、開催地区毎に、同ネットワーク活動に参画されている方々に基調講演を行っていただきます。</p>
<p>サブマージアーク溶接による先組ビルトHの溶接部性能と梁端接合部の塑性変形能力 (先組ビルトH梁のサブマージアーク溶接施工ガイドブック解説) (40分)</p>	<p>先組みビルトH梁において、複合円型の改良型スカラップを用いても、梁端溶接部の脆性的な破断を防ぐことは困難です。この破壊形式は、これまでに系統的な研究が無く、破壊のメカニズムの解明を重要課題と考え、2014年に「BH研究会」が組織され、日本鉄鋼連盟の研究助成などを受け研究が開始されました。今回、研究会の成果として「先組みビルトH梁のサブマージアーク溶接施工ガイドブック」を刊行致しました。ガイドブックでは研究会を通じて得た以下の知見を提示しております。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)SAWの溶接材料・溶接施工法と溶接金属の靱性値の関係 (2)先組みBH梁の脆性破壊発生メカニズムとBH梁の塑性変形能力の関係 (3)不溶着部がBH梁の塑性変形能力に与える影響 (4)圧延H形鋼梁と同等の塑性変形能力となるために必要なSAW金属の靱性値 <p>また、ビルトHのサブマージアーク溶接施工方法についても解説しております。今回は本ガイドブックの概要をご紹介します。</p>
<p>リサイクル性を考慮した鉄鋼製品の環境負荷計算法とISO/JIS規格化 (25分)</p>	<p>鉄鋼製品は製品寿命を迎えた後も、ほぼ全量がスクラップとして回収され転炉や電気炉でリサイクルされているため、その環境負荷はこのリサイクルを考慮して計算する必要があります。しかしこれまでは、その計算手法が確立されていないために、他素材製品と同様、資源採掘から製造までの部分のみで計算、評価されてきました。世界鉄鋼協会(worldsteel)は、鉄鋼製品のリサイクルを含めた生涯環境負荷の算出法を確立し、日本鉄鋼連盟はこれを受けて国際規格、国内規格化を進めてきたところ、このたび、ISO 20915規格、およびJIS Q 20915として規格化されました。その考え方と規格の内容について紹介します。</p>
<p>冷間成形角形鋼管の溶接・加工品質向上と施工合理化について(その2) (35分)</p>	<p>本研究は、鉄骨造建築物の柱材として最も多く使用されている冷間成形角形鋼管柱を対象に、溶接部の品質向上と施工合理化を目指すものです。具体的には溶接部の要求性能を数値解析、及び、構造実験等により明らかにすると共に、溶接部の保有性能を定量的に評価する手法をまとめ、これにより、鉄骨製作工場認定制度における性能評価基準の入熱量、パス間温度の管理値を緩和することを目的とします。さらに、柱端の溶接接合部に要求される性能を適切に評価することで、より一層の施工合理化を図る溶接条件を導出します。本研究は、第1ステップとして2016年度から4ヶ年にわたり行われるもので、今回は、設計最大入熱を30kJ/cmと60kJ/cmとした溶接施工試験、及び、熱伝導解析結果についてご紹介します。</p>
<p>建研・国総研における鉄骨造建築物に関する最近の研究 (45分)</p>	<p>本講演では、建築研究所及び国土技術政策総合研究所において実施している鉄骨造建築物に関する研究について紹介します。</p> <p>建築研究所では、平成28~30年度の建築研究所の指定課題として「過大入力地震に対する鋼構造建築物の終局状態の評価手法と損傷検知に関する研究」を実施しました。この研究では、地震に対する鉄骨造建築物の梁端部及び骨組の終局限界性能等を明らかにするための実験、解析等の研究を行いました。ここでは、それらの検討の中の、鉄骨梁端部の多数回繰り返し載荷実験、鉄骨造骨組の振動台実験、鉄骨造骨組の損傷検知手法、に関しての研究結果を紹介いたします。</p> <p>国土技術政策総合研究所では、現在、国土交通省の総合技術開発プロジェクトとして「新しい木質材料を活用した混構造建築物の設計・施工技術の開発(H29~H33)」を行っています。ここでは、その研究概要と鉄骨造関連の実験計画等をご紹介します。</p>

第6回「建築構造用鋼材と利用技術セミナー」プログラム(予定)

		開催地区	広島	大阪	札幌	名古屋	福岡	仙台	東京
		開催日	2019年10月29日(火)	2019年10月31日(木)	2019年11月8日(金)	2019年11月20日(水)	2019年11月26日(火)	2019年11月29日(金)	2019年12月6日(金)
		会場	メルパルク広島 瑞雲(6階) 広島県広島市中区 基町6-36 TEL:(082)222-9867	大阪大学中之島センター 佐治敬三メモリアル (10階) 大阪市北区中之島 4-3-53 TEL:(06)6444-2100	札幌グランドホテル 紅葉(本館3階) 札幌市中央区北1西4 TEL:(011)261-3311	愛知県産業労働センター (ウインクあいち) 特別会議室1303 名古屋市中村区名駅 4-4-38 TEL:(052)571-6131	アクロス福岡 大会議室(7階) 福岡市中央区 天神1-1-1 TEL:(092)725-9113	仙台国際ホテル 広瀬(4階) 宮城県仙台市青葉区 中央4-6-1 TEL:(022)268-1111	東京証券会館 ホール(8階) 東京都中央区日本橋茅 場町1-5-8 TEL:03-3667-9210
		定員	96名	144名	72名	81名	120名	70名	200名
時間割・プログラム	13:10~13:20	開会挨拶							
	13:20~14:10	基調講演	広島大学大学院 工学研究科 建築学専攻 教授 田川 浩	神戸大学大学院 工学研究科 建築学専攻 教授 田中 剛	北海道大学大学院 建築都市空間デザイン 部門 教授 岡崎 太一郎	名古屋工業大学大学院 しくみ領域社会工学専攻 建築デザイン工学科 教授 井戸田 秀樹	福岡大学 工学部 建築学科 教授 塚 純一	東北大学大学院 工学研究科 都市・建築学専攻 教授 木村 祥裕	東京工業大学 ^{【*2】} 科学技術創成研究院 未来産業技術研究所 教授 山田 哲
	14:10~14:50	サブマージアーク溶接による先組ビルトHの溶接部性能と梁端接合部の塑性変形能力(先組みビルトH梁のサブマージアーク溶接施工ガイドブック解説)	建築委員会 委員長 (日本製鉄㈱) 建材開発技術部 部長 窪田 伸	BH研究会 幹事 (JFEスチール㈱) 建材技術部 建築技術室 部長 藤沢 清二	BH研究会 幹事 (JFEスチール㈱) 建材技術部 建築技術室 部長 藤沢 清二	建築委員会 幹事 (㈱神戸製鋼所) 厚板商品技術部 次長 上田 太次	建築委員会 幹事 (日本製鉄㈱) 建材開発技術部 建築建材技術室長 眞有 信博	建築委員会 幹事 (JFEスチール㈱) 建材技術部 建築技術室 部長 村上行夫	建築委員会 委員長 (日本製鉄㈱) 建材開発技術部 部長 窪田 伸
	14:50~15:15	リサイクル性を考慮した鉄鋼製品の環境負荷計算法とISO/JIS規格化	LCA検討WG 主査 (日本製鉄㈱) 技術総括部 上席主幹 磯原 豊司雄	建設環境研究会 委員長 (㈱神戸製鋼所) 鉄鋼事業部門 技術総括部 担当部長 山本 裕基	建設環境研究会 副委員長 (日本製鉄㈱) 建材開発技術部 建築 建材技術室 主幹 平川 智久	LCA検討WG 委員 (JFEスチール㈱) 技術企画部 主任部員(部 長) 地球環境グループ 渡壁 史朗	建設環境研究会 委員長 (㈱神戸製鋼所) 鉄鋼事業部門 技術総括部 担当部長 山本 裕基	建設環境研究会 幹事 (JFEスチール㈱) 建材技術部 土木技術室 主任部員 松原 秀和	建設環境研究会 副委員長 (日本製鉄㈱) 建材開発技術部 建築 建材技術室 主幹 平川 智久
	15:15~15:25	休憩							
	15:25~16:00	冷間成形角形鋼管の溶接・加工品質向上と施工合理化について(その2)	ホックスコム委員会 委員長 (日鉄建材㈱) 顧問 園田 正雄	ホックスコム委員会 幹事 (日本製鉄㈱) 建材開発技術部 建築 建材技術室 上席主幹 澤泉 紳一	ホックスコム委員会 幹事 (日鉄建材㈱) 建築商品開発部長 赤丸 一郎	ホックスコム委員会 幹事 (丸一鋼管㈱) 東京工場長 粟根 良昭	ホックスコム委員会 幹事 (JFEスチール㈱) 建材技術部 建築技術室 安田 享平	ホックスコム委員会 委員長 (日鉄建材㈱) 顧問 園田 正雄	ホックスコム委員会 委員長 (日鉄建材㈱) 顧問 園田 正雄
	16:00~16:45	建研・国総研における鉄骨造建築物に関する最近の研究	国立研究開発法人 建築研究所 構造研究グループ 上席研究員 長谷川 隆	国立研究開発法人 建築研究所 国際地震工学センター 主任研究員 伊藤 麻衣	国土交通省 国土技術政策総合研究所 建築研究部 評価システム研究室 室長 石原 直	国立研究開発法人 建築研究所 建築生産研究グループ 主任研究員 岩田 善裕	国立研究開発法人 建築研究所 国際地震工学センター 主任研究員 伊藤 麻衣	国立研究開発法人 建築研究所 理事長 緑川 光正	国土交通省 国土技術政策総合研究所 建築研究部 構造基準研究室 研究官 三木 徳人

*1:講師・講演内容は変更になる場合があります。*2:東京会場における二重線囲み内の講演は順番を入れ替えて実施予定です。

FAX 送信先:03-3669-0229

一般社団法人日本鉄鋼連盟 市場開発グループ 磯田 行

第6回「建築構造用鋼材と利用技術セミナー」受講申込書 【FAXによるお申込用】

申込方法 : 本受講申込書に必要事項をご記入の上、上記番号宛FAXにてご送信下さい。

※インターネットによりお申し込みされる場合は、この受講申込書は必要ありません。

※開催日の3日前以降にお申し込みの場合は、確認のため、電話にてご連絡の上お申し込み下さい。

申込受付先: 一般社団法人 日本鉄鋼連盟 業務部 市場開発グループ 担当:白鳥、桑野

・お問合せ先 電話:(03) 3669-4815

申込書(楷書でご記入願います。)

◎申込地区: 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡 (申込地区を○で囲んで下さい)

フリガナ:

貴社名/事業所名: _____ ご担当者: _____

住所: 〒 _____ 都道府県 _____

電話: _____ FAX: _____

メールアドレス(注1): _____

業態: 官公庁・設計事務所・建設業・鉄骨加工業・研究機関・大学/高専・鉄連建築委員会加盟社

その他(_____) (貴社の業態を一つだけ○で囲んで下さい)

受講者(ご担当者が受講される場合も下表にご記入願います):

フリガナ お名前	御所属・御役職 メールアドレス(注1), CPD番号(注2)
	所属・役職: メールアドレス: _____ CPD番号: _____

(注1) 当連盟からの各種ご案内やアンケートの実施を予定しておりますので、ご同意いただける場合メールアドレスをご記入願います。

(2) 建築士会CPD制度の認定プログラム履修履歴に登録ご希望の場合は、CPD番号をご記入下さい。

(3) お申し込みいただいた各受講者宛、受講証をFAX送信(メールアドレスを記入いただいた方には電子メール送信)しますので、ご確認下さい。